

窓からの侵入

窓の種類と防犯性

台見州 禁止転用

掃き出し窓



最も侵入が容易なために狙われやすい、掃き出し窓が死角になる家は注意が必要、また無締りが多いのもこの窓の特徴である。

腰高窓



ガラス破り被害が最も多い窓、クレセントの位置が作業性の良い位置にあるのも要因、補助錠を取り付けましょう。

高窓



住居の裏手に配置することが多いことから狙われやすい、面格子等の対策が必須

出窓

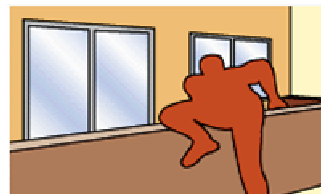


構造的にシャッターや面格子などの取り付けが出来ないため防犯性は良くないのですが一般的に見晴らしの良い位置に取り付けることから意外と被害は少ない、但し対策は必要です。

ベランダの掃き出し窓



最近、プライバシーやデザイン面から外壁と同じ構造のベランダが多く見受けられますが、このタイプは上ってしまえば外部から犯行が見えないため狙われやすく被害が増えています。上られない工夫と防犯対策が必要です



足場になるものは絶対に置かないこと



横すべり出し窓

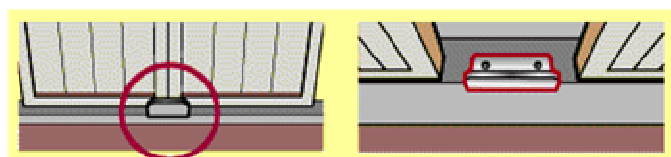


縦すべり出し窓



最近、防犯ガラスやフィルム、補助鍵の取り付けなどによりガラス破りは減ってきていますが、窓のこじ開けによる侵入手口が増えています。特に外側に開くすべり出し窓は鍵がなくハンドルだけで閉まっているものが多く簡単にこじ開けることが出来るため狙われやすくなっています。 **インナーフェンス**を取り付けましょう

注意 木製の雨戸は敷居の溝が浅く持ち上げると簡単に外れます



敷居に雨戸外れ止めを取り付けましょう